

ほっけせん

222 サンタクロース



『大行列のふれあい鍋』

ふれあいフェスタの風物詩とも言える『ふれあい鍋』には毎年大行列ができます。先頭の男性は、なんと1時間も前から並んでいたそうです。アツアツの豚汁は格別においしかったことでしょう! また来年が楽しみです。

今月の表紙

薩摩郷句 兼題『計画』

計画通い 仕事ちや捌けじ また夜中

(唱) 女房どま年中 一人で夕飯

上村牛歩

計画立てた 旅がおじやんの 憎き台風

(唱) まこち歯痒いか 折角のとき

上窪サエ子

TPPで 牛飼ん計画が ひつ狂つ

(唱) 頑張る思ったが 気がひん萎えつ

諸木小春

計画通い 買ったマンションに けちが付つ

(唱) お先真つ暗 家族中が寝込つ

西ノ園ひらり

爺ちゃんち 孫が来い日は 年金日

(唱) 臭がしたかち 苦笑れん爺

北村虎王

大崎短歌会

風邪を引き夫病院へ五日分の薬で充分医者笑みて言う

高瀬睦子

その昔黒潮わけて往来せし ヤマト男の子のロマンス想う

上南紀子

海という字をしめくくる母の文字 うみは私の母なる証し

大和てるみ

山茶花の蕾のあまたふくらみぬ

今朝陽に映ゆるくれない一輪

中崎ハナエ

小降りです傘さし歩く三十分

山のあなたの"など唱いつつ

原田葉子

大崎俳句会

東の間の冬夕焼けを眺めをり

桑原正樹

烏瓜木の間隠れに照らしをり

宮脇洋子

首筋に宛てがふタオル朝寒し

春田昌子

大クレーン釣瓶落しにたみをり

宮下のし

新米の香り豊かに今朝の幸

三浦倫子

潮鳴りを開きつ愚作の夜長の灯

折田スズ

指まわし蜻蛉捕りしのはるかなる

坂元つる子

人権啓発シリーズ

～ハンセン病と人権～

【悲しい歴史を繰り返さない】

ハンセン病は古くから知られている病気で、国の政策により強制的に隔離され、本人だけでなく、家族も偏見や差別を受け、かけがえのない多くの方々の人生が奪われました。病気が治っても家族の元へ帰れず、社会復帰が難しい状況にあり、今もなお、多くの方々が、療養所での生活を余議なくされています。ハンセン病問題の歴史を学び、交流を重ね、差別解消の心を育んでいきましょう。